

NEWS RELEASE



2023 年 1 月 31 日
日本新薬株式会社
広 報 部

各 位

従業員の健康増進と社会貢献を実現する「NS フードドライブ」を実施 122 kgのお米をフードバンクへ寄贈しました

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：中井 亨、以下「当社」）は、昨年取り組みを開始した「NSフードドライブ」活動において、このたび、122kgのお米をNPO法人セカンドハーベスト京都（所在地：京都市伏見区、理事長：澤田 政明）に寄贈しましたのでお知らせいたします。

「NSフードドライブ」は、日本新薬健康保険組合が定期的を実施するウォーキングイベント「みんなで歩活」において、1日平均歩数8,000歩を達成したチームの従業員に贈られるゴール達成賞のお米を、子ども食堂などに寄贈する活動です。従業員が健康増進とともに実施できる社会貢献活動として、2022年4月にスタートしました。

今回、11月1日～11月30日に実施された「みんなで歩活」では、61名の従業員から122kgのお米が集まり、フードバンク活動などを行っているNPO法人セカンドハーベスト京都に寄贈しました。



澤田 政明 さん（NPO法人セカンドハーベスト京都 理事長）

当社は「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」という経営理念のもと、医薬品、機能食品事業を通じて社会課題を解決することはもとより、社会貢献活動の一環として、「未来を担う子どもたちを育む活動」を行っております。これまで、「日本新薬こども文学賞」や「はしる図書館 日本新薬きらきら未来ゴー！」などにより、子どもたちの心の健康を支援していますが、今回の活動のような、食を通じた子どもたちの身体の健康への貢献活動も継続してまいります。

【NPO法人セカンドハーベスト京都 澤田理事長のコメント】

新型コロナウイルス感染症の影響により、特に低所得者層がダメージを受けており、さらには物価高騰も進む中、子どもへの支援の申し出も増加傾向にあります。今回お預かりしましたお米は、食品を必要としている方にとって、一番喜ばれるものです。社員の皆さまからいただいたお米により、大勢の方に笑顔が広がる取り組みとなりましたことを感謝いたします。

【セカンドハーベスト京都について】

セカンドハーベスト京都は、安全に食べられるにも関わらず今までは廃棄されていた食品を提供してもらい、支援を必要とする人々を支える団体等に提供する活動を通じて、京都における食品ロス削減とフードセーフティーネットを両立させる社会インフラの一つとなることを目指した認定NPO法人です (<https://www.2hkyoto.org/>)。

【フードドライブとは】

家庭等で余っている食品を集めて、必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。

フードドライブの推進は、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（2020年3月31日閣議決定）」においても食品ロス削減のための施策の一つとして位置づけられています。さらに、生活困窮者等の支援にもつながる取組でもあり、「孤独・孤立対策の重点計画（2021年12月28日孤独・孤立対策推進会議決定）」の中でも具体的施策の一つとして位置づけられています。

以上